

インドネシア スラウェシ島 地震

TMAT 災害医療活動報告

平成 30 年 10 月 6 日 23:00

第 5 報

10 月 6 日

【先遣隊】

午前中は Anutapura 病院内で救急外来および手術の介助を実施。医師含めたスタッフは充実してきており、支援物資や医療チームの出入りが多くなって来ている（インドネシア国内チーム）。午後からは sigi city になるトラベルホスピタルに視察。多くの患者は重症患者を主にすでに転院搬送されていた。またそれ以外の患者は BNPB(インドネシア国家防災庁) が設置テント内病棟で過ごしている状況。しかし物資は十分でない印象であったため、視察と共に物資を届けた。

(物資に関しては medicalemergency rescue comittee にて提供頂いたものを届けた。)

【第 2 班】

マカッサルに滞在していた第 2 班は当初 14 時頃のフライトでパルに向かう予定であったが、10 時 30 分発のパル行きの手配が可能となったため同便に搭乗。14 時 30 分頃パルに到着。

16 時 30 分頃、先遣隊と第 2 班は Anutapura 病院で合流をした。合流後今後の活動方針を協議したほか、現在 AMDA インドネシア支部スタッフと活動している状況から AMDA 本部と TMAT 本部とで協議し、今回の活動は AMDA と TMAT の合同ミッションという形にすることとなった。

なお、メンバー 6 人の体調は良好である。また通信環境は回復してきており、パルでも携帯電話の使用ができるようになってきている。



処置や手術の介助を実施



AMDA チームと合同で活動

事務局担当

野口 幸洋	(NPO 法人 TMAT / 一般社団法人徳洲会東京本部)
阪木 志帆	(NPO 法人 TMAT / 一般社団法人徳洲会東京本部)
阿部 真也	(NPO 法人 TMAT / 一般社団法人徳洲会東京本部)

(文責 事務局 野口 幸洋)